

輪番登録数2、821名！昨年より482減

1日218名紹介で月3回就労となる(昨年並み)

輪番登録の受付が完全に終わった。釜ヶ崎支援機構事務所の前に張り出してあるので、もうすでに承知のことと思うが、登録数は2、821名だった。

昨年から引き続いての切り替えは1、964名、新規登録は857名であった(登録数の約7割が昨年からの引き続きということになる)。

登録総数は昨年度と比較して482名減少しているが、これを持ってして「輪番就労の人气が落ちている」ということはできない。新規登録は857名あったし、減少した482を年齢区分で見ると、64歳までが140名、65歳以上が342名で、65歳以上の層で減少あるいは新規登録の抑制があったと推測されるからだ。

今年度から、生活保護受給者は登録することはできないことになったのだから当然の結果といえる。

登録数は2、821名だが、実数は2、700名前後である。

あやふやな言い方だが、日々数字が動くからしょうがない。二重登録や生活保護受給者の登録取り消しで登録数が減少し、そして新しく生保に移行した仲間のカード返上で、日々、極僅かだが登録数が減少しているからだ。

とりあえず、就労数の大きな増加がなかったにもかかわらず、月3回就労を維持できたことになる。

気持ちよく、あるいはシブシブであれ輪番就労を卒業してもらった仲間達に感謝しつつ、月5回就労、月13日就労を目指して就労数を拡大して行きたいものだ。

ちなみに、平均年齢は61歳。55歳以上の輪番就労登録者の平均年齢だから、年齢制限のない野宿者調査と比べて当然ながら、高齢となっている。どれくらい高齢に傾いているかということ、5歳は高い。65歳以上に全員卒業してもらっても1歳下がって、60歳になるにすぎない。還暦の一大集団というわけだ。

年齢	2001年			2002年		
	人数	%		人数	%	
54歳以下	20人	0.6%	64歳まで 2,539人 76.8%	10人	0.4%	64歳まで 2,399人 85.1%
55～59	1,246人	37.7%		1,154人	40.9%	
60～64	1,273人	38.5%		1,235人	43.8%	
65～69	603人	18.3%	65歳以上	341人	12.1%	65歳以上 422人 14.9%
70歳以上	161人	4.9%	764人	81人	2.8%	
総計	3,303人	100.0%	23.2%	2,821人	100.0%	

温度差が激しいこの頃、早めに医療センターに！

夜間宿所の近くで、相次いで2人の仲間が死んだと聞いた。聞こえてこない死亡もあるから、いったい何人の

仲間がこの季節になくなっているのか。朝晩と日中の温度差が大きく、こたえてのことだろうと思う。

夜間宿所や大テントは、開設以来、4月に入ってから5月の中旬までの期間、列が混乱する。そして多くの仲間がアブレる。冬の寒さの時期よりも、「競争」が激しいように思える。新たに野宿を余儀なくされる層が増える時期ということと同時に、日中の暖かさと明け方の冷え込みとの落差が、身体に恐怖感を与えてのことだと思う。

野宿をしなくてもすむ収入をもたらす仕事量の拡大が望まれるが、それが今すぐできないのであれば、せめて寝場所を拡大してほしいものだ。夜間宿所の運営を大阪市から委託されている釜ヶ崎支援機構としても、現状のままではせつない限りだ。

野宿を余儀なくされている仲間の人数に比べて釜ヶ崎の、大阪の、野宿を余儀なくされている仲間が頼れる資源は余りにも少ない。ついついあきらめが先に立ち、身体の調子が悪くても、もうちょっと辛抱しようか、ということになりがちだ。気がつけば手遅れという話も多い。特に、ガンの話で。

還暦の一大集団で、しかも不安定な生活を余儀なくされているということであるから、病気にかかっている仲間も多い道理だ。

市更相や西成労働福祉センターの医療券を活用して医療センターで早めに診てもらおう。

釜ヶ崎支援機構の事務所でも、初診だけ有効な「医療紹介券」を出すことができる。続けて診てもらふ必要がある場合は、市更相へ行かなければならないが、とりあえず診てもらいたいと言うときは便利だと思う。医療センターには「無料市民健康診査」の制度があり、自覚症状がなくても健康診断してくれる。

あいりん相談室 社会福祉法人 大阪自彊館

失業や高齢、疾病などにともなう生活障害の諸問題をかかえ、「あいりん地域」で生活困窮状態を余儀なくされている労働者等に対して、生活全般にわたる相談を受け付け、その自立を支援します。

* 事業内容

生活全般に対する相談・助言

関係機関、各種団体との連絡調整及び情報交換

その他、目的達成のために必要な事業

西成区萩之茶屋1-9-14(大阪自彊館「三徳寮」内)

TEL.06-6645-0504(月～金/午前10時～午後3時)

(福祉の専門家による相談が受けられます)

60歳以上住民票ある仲間は老福センターへ

生活する世界を広げるためにいろんな所に出かける事を勧めたい。その一つとして、西成老人福祉センターがお勧めだ。

場所は、地下鉄花園駅、イズミヤの交差点を西に徒歩3分ぐらい。60歳以上の市内在住者であれば誰でも利用申し込みができ、申し込みの後、利用者カードを作成してもらって利用することができる。